

新型コロナウイルスワクチン接種に関する教員の発言

【ご意見・ご要望】(投稿日:2021年6月29日)

「〇〇(科目名)」を担当している先生が先週から度々「ワクチンを打った方が良い」「ワクチンを打たないと今の状況は変わらない」と授業中に発言をされており、嫌気がさしています。

そもそも私はワクチン反対派なのでそう思うだけかもしれません。

ですが、先生がその立場を利用して自分の主観を色濃く反映した発言をすることは、ワクチン接種をためらっている学生の判断を惑わすことに繋がります。接種をためらっている学生にはワクチンのメリットデメリットを正確に伝え、自分で判断させるべきだと思います。

「ワクチン接種のお知らせ」に「本ワクチン接種はあくまで希望者に対して接種するものであり、本学における大学活動に対してワクチン接種を義務化したり、接種しない者が不利益を受けられるものではありません。」と明記されているのに、教員が同調圧力をかけるような発言はしてはならないと思います。

京都大学側には「ワクチンを打つ/打たないは個人の自由であり、強制させるような発言はしてはならない」ということを教員に周知徹底させることを求めます。

【回答】(回答日:2021年7月2日)

(回答部署:総務部総務課)

ご意見ありがとうございます。

ワクチン接種は、最終的には個人の判断で接種されるものであり、大学としてワクチン接種を強制するものではありません。

ご案内のとおり、京都大学危機対策本部からの通知においてもワクチン接種を義務化したり、接種しない者が不利益を受けたりするものではないことを明記しており、また、Q&Aにおいてもワクチン接種は本人の同意が必要であり、本人の希望に基づくことが大前提である旨の注意喚起を行っております。

このことは、引き続き本学教職員、学生、その他本学関係者に対して周知徹底に努めてまいります。